



6/12

水害に備え 土のう作り・土のう積み体験 令和3年度 水防訓練

大雨等による河川の氾濫で起こる被害を最小限に防ぐため、水防工法の技術を習得し、水防に対する意識向上を図ることを目的に茂原公園第2駐車場にて水防訓練を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しての訓練となりましたが、各自主防災組織（10組織）の皆さんが参加し、長生郡市広域市町村圏組合消防本部中央消防署の指導のもと、土のう作り、土のう積み体験しました。



▲指導を受けながら土のう積み体験しました



▲田中市長(左)と茂原市観光協会 会長 麻生正視さん(右)

約200本の桜の記録と記憶

一宮川流域の伐採される桜を記録したDVDの完成報告会

6/21

茂原市観光協会では、河川工事に伴い伐採されることとなった約200本の桜を映像化し、DVD贈呈のため、麻生会長が市長を訪問しました。

このDVDはクラウドファンディングを活用し、214人の方から計1,504,800円の寄付により作製されたもの。

DVDを視聴した市長は「さまざまな事情で桜を残すことができず非常に残念だが、こうして記録に残してもらったことは大変うれしい」と桜に対する思いを述べました。

6/23

食事と運動で健康に！ 茂原市健康生活推進委員会主催「減塩教室とウォーキング」

茂原市健康生活推進委員会主催による「減塩教室とウォーキング」が保健センターで開催されました。これは、食塩のとり過ぎが病気の引き金になることから、減塩を意識し、運動と組み合わせることで健康な生活を送るための教室です。

推進員は、参加者に1日の食塩摂取目標量を説明し、「食塩とり過ぎチェック」を行いました。

参加者は、自分の食塩のとり方を振り返りながら減塩方法を学んだあと、保健センター周辺でウォーキングを行い、減塩と運動の大切さについて理解を深めました。



▲「え～!!そんなにとってるの!!」と驚く参加者



▲田中市長(後列左)と茂原市遺族会の皆さん

戦争の記憶と平和への祈り

茂原市遺族会 記念誌「あゆみ」贈呈

6/24

茂原市遺族会（清水博也会長）は、戦後75周年記念誌「あゆみ」を発刊しました。2年以上の歳月をかけて完成した記念誌には、戦中・戦後の暮らしを知る遺族の声や、当時の貴重な写真などが収録されています。

戦後75年以上が経ち、戦争の記憶が風化していくなか、この本が戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ繋ぐ“語り部”となることでしょう。